2027年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月6日

上場会社名　株式会社セカンドリテイリング　上場取引所　東 名
コード番号　2681　URL　https://2nd-rtl.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長執行役員　（氏名）遠藤　結蔵
問合せ先責任者　（役職名）執行役員グローバル財務戦略部ＧＭ　（氏名）梶田　義章　TEL　052-350-5711
半期報告書提出予定日　2026年11月6日　配当支払開始予定日　2026年12月10日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	246,767	13.7	8,378	64.8	8,389	50.5	4,795	48.6
2026年3月期中間期	216,943	8.6	5,085	△6.1	5,572	7.1	3,227	14.2

（注）包括利益　2027年3月期中間期　4,807百万円（45.9%）　2026年3月期中間期　3,295百万円（9.2%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	120.54	120.33
2026年3月期中間期	81.22	81.06

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	307,281	102,268	33.2
2026年3月期	295,211	98,190	33.2

（参考）自己資本　2027年3月期中間期　102,137百万円　2026年3月期　98,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	－	17.00	－	17.00	34.00
2027年3月期	－	17.00			
2027年3月期（予想）			－	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	510,000	6.0	17,000	19.4	16,500	7.5	8,200	△6.2	206.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	39,783,552株	2026年3月期	39,783,552株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	174株	2026年3月期	81株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	39,783,432株	2026年3月期中間期	39,739,401株

※　第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況 …… 4
（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国における各種関税政策の再編や通商方針の不透明感、地政学リスクに伴う原材料・エネルギー価格の変動など、企業経営を取り巻く先行きには引き続き注意を要する状況が続いております。

リユース業界におきましては、物価高騰を背景とした消費者の節約志向に加え、一点物の魅力や環境負荷低減といった価値観の広がりを背景に、市場成長が継続しております。

このような環境のなか、当社グループは「豊かで楽しい日常の暮らしを提供する」ことを目指し、「価値あるものを再分配し、モノとよろこびを循環させる」事業活動を通じて、世界の日常を豊かにする挑戦を推進しております。これらを実現すべく、電子商取引の利便性向上や、国内・海外における2nd STREETを中心とした積極的なリユース店舗網の拡大を進め、持続的成長の実現に取り組んでおります。

セカンドストリート事業の動向といたしましては、国内及び海外ともに商品構成の中心であるリユース衣料・服飾雑貨が、好調に推移いたしました。以上の結果、主に、衣料・服飾雑貨、家具・家電等の売上高は84,695百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

ゲオ事業のリユース商材の動向といたしましては、スマートフォンやタブレット端末等のリユース通信機器において、市場動向に応じた柔軟な価格施策に加え、積極的なプロモーション活動が奏功いたしました。また、家庭用ゲーム機においてダウンロード販売への移行が進む市場環境の影響を受ける一方、「Nintendo Switch 2」の中古品の堅調な取引が引き続き売上高に貢献いたしました。以上の結果、ゲオ事業のリユース商材の売上高は47,566百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

ラグジュアリー事業の動向といたしましては、棚卸資産回転率の向上が全体を牽引いたしました。また、前期に米国の関税等による影響を受けた海外卸売におきましても、持ち直しの動きが見られました。以上の結果、ラグジュアリーの売上高は33,876百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

新品商品におきましては、新作タイトルの寄与等によりゲームソフトの売上高が堅調に推移したほか、トレーディングカードも売上を伸ばしました。一方で、ゲーム機本体におきましては、前年の発売初動特需の反動や前第１四半期における値上げ前の駆け込み需要の剥落が大きく影響いたしました。以上の結果、新品商品の売上高は50,908百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高246,767百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益8,378百万円（前年同期比64.8%増）、経常利益8,389百万円（前年同期比50.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益4,795百万円（前年同期比48.6%増）となりました。

なお、当中間連結会計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。
（　）内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店			ＦＣ店・代理店			合計	
		出店数	退店数		出店数	退店数		
セカンドリテイリング グループ店舗数	2,214	98	37	119	0	2	2,333	(+59)
2nd STREET（国内）	912	44	7	56	0	0	968	(+37)
2nd STREET（米国）	57	2	0	0	0	0	57	(+2)
2nd STREET（台湾）	50	1	1	0	0	0	50	(0)
2nd STREET（マレーシア）	35	5	0	0	0	0	35	(+5)
2nd STREET（タイ）	13	4	0	0	0	0	13	(+4)
2nd STREET（シンガポール）	3	1	0	0	0	0	3	(+1)
2nd STREET（香港）	6	4	0	0	0	0	6	(+4)
GEO	941	2	24	62	0	2	1,003	(△24)
OKURA TOKYO（おお蔵）	24	3	2	0	0	0	24	(+1)
LuckRack	56	12	1	0	0	0	56	(+11)
カプセル楽局	79	20	2	0	0	0	79	(+18)
その他	38	0	0	1	0	0	39	(0)

（注）１．屋号毎の店舗数をカウントしています。
２．2nd STREETは衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗（屋号：2nd STREET、Super2nd STREET、2nd OUTDOOR、JUMBLE STORE等）をカウントしています。
３．GEOは家庭用ゲーム・携帯電話・スマートフォンの買取販売、ＤＶＤレンタル等を行う店舗（屋号：GEO、GEO mobile、GEO DIGITAL BASE）をカウントしています。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は202,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,741百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3,566百万円減少した一方、商品が8,106百万円増加したことによるものであります。固定資産は105,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,328百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物（純額）が1,662百万円、使用権資産（純額）が2,645百万円、無形固定資産に含まれるソフトウエア仮勘定が1,304百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、307,281百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,070百万円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は57,037百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,138百万円増加いたしました。これは主に流動負債のその他に含まれる未払金が547百万円減少した一方、買掛金が992百万円、１年内返済予定の長期借入金が1,265百万円増加したことによるものであります。固定負債は147,975百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,853百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が4,440百万円、リース債務が1,298百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、205,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,991百万円増加いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は102,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,078百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益4,795百万円及び剰余金の配当676百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は33.2％（前連結会計年度末は33.2％）となりました。

（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3,517百万円減少し、88,230百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は1,339百万円（前年同期は2,645百万円の増加）となりました。

これは、棚卸資産の増加額が8,271百万円、法人税等の支払額が2,872百万円ありましたが、税金等調整前中間純利益が8,331百万円、減価償却費が4,370百万円ありましたことが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は8,973百万円（前年同期は9,153百万円の減少）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が5,673百万円、無形固定資産の取得による支出が2,303百万円ありましたことが主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は4,355百万円（前年同期は16,042百万円の増加）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出が6,293百万円ありましたが、長期借入れによる収入が12,000百万円ありましたことが主な要因であります。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月８日に公表いたしました2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間において、セカンドストリート事業をはじめとするリユース商材の売上が好調に推移したこと等により、各利益段階において期初予想を上回る進捗となりました。

下期におきましては、外部環境の不透明感や安全対策に伴う影響等を慎重に勘案したものの、足元での好調な業績の進捗を踏まえ、通期連結業績予想を上方修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2026年11月６日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,656	83,090
売掛金	18,792	18,307
商品	77,062	85,169
その他	14,238	15,929
貸倒引当金	△357	△360
流動資産合計	196,393	202,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,486	23,149
土地	7,279	7,286
使用権資産（純額）	23,054	25,699
その他（純額）	12,677	11,922
有形固定資産合計	64,498	68,058
無形固定資産	5,447	6,657
投資その他の資産		
敷金及び保証金	21,177	22,154
繰延税金資産	4,865	5,217
その他	3,074	3,304
貸倒引当金	△246	△245
投資その他の資産合計	28,871	30,430
固定資産合計	98,817	105,146
資産合計	295,211	307,281

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,469	13,461
１年内返済予定の長期借入金	13,421	14,686
未払法人税等	3,109	3,795
賞与引当金	3,036	2,972
その他	22,862	22,121
流動負債合計	54,899	57,037
固定負債		
社債	12,175	12,175
長期借入金	93,053	97,494
リース債務	26,613	27,911
繰延税金負債	235	259
資産除去債務	7,941	8,205
その他	2,102	1,928
固定負債合計	142,121	147,975
負債合計	197,020	205,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,317	9,317
資本剰余金	3,729	3,801
利益剰余金	84,913	89,006
自己株式	△0	△0
株主資本合計	97,961	102,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52	128
為替換算調整勘定	7	△115
その他の包括利益累計額合計	60	12
新株予約権	47	47
非支配株主持分	121	83
純資産合計	98,190	102,268
負債純資産合計	295,211	307,281

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	216,943	246,767
売上原価	128,177	142,885
売上総利益	88,765	103,881
販売費及び一般管理費	83,680	95,503
営業利益	5,085	8,378
営業外収益		
為替差益	189	－
不動産賃貸料	575	578
受取保険金	151	227
その他	346	463
営業外収益合計	1,262	1,269
営業外費用		
為替差損	－	255
支払利息	438	719
不動産賃貸費用	182	162
その他	153	121
営業外費用合計	775	1,258
経常利益	5,572	8,389
特別損失		
減損損失	42	58
特別損失合計	42	58
税金等調整前中間純利益	5,530	8,331
法人税、住民税及び事業税	2,268	3,838
法人税等調整額	△7	△364
法人税等合計	2,260	3,473
中間純利益	3,270	4,857
非支配株主に帰属する中間純利益	42	62
親会社株主に帰属する中間純利益	3,227	4,795

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	3,270	4,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	75
為替換算調整勘定	16	△125
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	25	△50
中間包括利益	3,295	4,807
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,250	4,747
非支配株主に係る中間包括利益	44	59

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,530	8,331
減価償却費	3,671	4,370
レンタル用資産減価償却費	1,288	999
受取利息及び受取配当金	△83	△169
支払利息	438	719
売上債権の増減額（△は増加）	1,036	354
棚卸資産の増減額（△は増加）	△5,295	△8,271
レンタル用資産取得による支出	△978	△865
仕入債務の増減額（△は減少）	△371	696
その他	108	△1,383
小計	5,345	4,781
利息及び配当金の受取額	74	145
利息の支払額	△438	△715
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,336	△2,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,645	1,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,451	△5,673
無形固定資産の取得による支出	△1,173	△2,303
その他	△527	△996
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,153	△8,973
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	22,000	12,000
長期借入金の返済による支出	△4,999	△6,293
配当金の支払額	△677	△674
その他	△279	△677
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,042	4,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	△238
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,523	△3,517
現金及び現金同等物の期首残高	64,760	91,747
現金及び現金同等物の中間期末残高	74,283	88,230

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）及び当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。